

# 北総版 授業力向上のポイント

**必見**

～授業の前に確認するはじめての一步～



授業力向上のために、ぜひ確認してほしいポイントです。日々の授業で活用してみましょう。

総合的な学習の時間

チェックを入れてみよう。

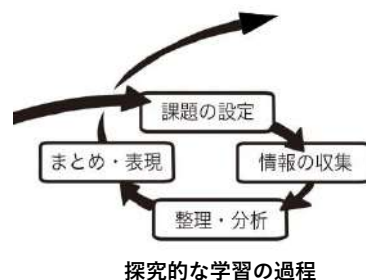
## 1 学校での学習と実社会や実生活をつなぐ架け橋に

学校では正解がある問いに取り組む場面が多いですが、実社会や実生活の中では、明確な正解のない課題に取り組むことが多いです。総合的な学習の時間は、そんな学校での学習と実社会や実生活をつなぐ貴重な架け橋です。実社会や実生活とのつながりを意識し、「この学習を通して、将来につながるこんな資質・能力を身に付けさせたい」という目標を明確にして、単元計画（探究課題）や授業を組み立ててください。また、試行錯誤を通じて、よりよい解決策を探る場面を活動の中に取り入れることで、実社会や実生活とつながる深い学びを実現しましょう。

## 2 「探究的な学習の過程」を意識し、教科等横断的な学習に

総合的な学習の時間では、探究的な学習の過程（右図）を重視します。実社会や実生活において、様々な課題を解決していく際にも、このような過程を経ることが一般的であるためです。

また、実社会や実生活では各教科等で学んできたことを、横断的・総合的に活用して、課題を解決していきます。総合的な学習の時間と各教科等での学びが相互に関連し、双方向的な学びとなるよう工夫していきましょう。



探究的な学習の過程

## 3 「考えるための技法」を身に付けるために ～思考ツールの活用～

児童生徒が、集めた情報を整理・分析する力を育むためには、「順序付ける」「比較する」「分類する」といった「考えるための技法」を身に付けることが重要です。その際、ベン図、イメージマップ、座標軸などの思考ツールを活用することは、これらの技法を習得するための効果的な手立てとなります。また、思考ツールを活用することで、考えを視覚的に共有し、対話的な学びを促進する効果も期待されます。これらの取組を、児童生徒の発達の段階に応じて計画的に取り入れていきましょう。

### 【参考資料】

① [今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（文部科学省）](#)

② [ドスルコスル（NHK for School）](#)

どちらも具体的な指導例が分かりやすく示されています。

